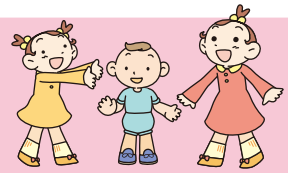


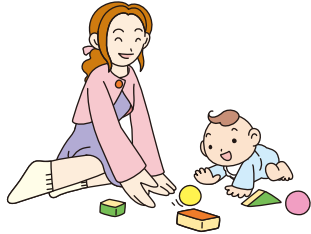
津市の子ども・子育て施策



子育てを取り巻く環境

▶ 子育ての不安・育児の負担感の増加

核家族化や地域の交流の希薄化などによって、身近な相談相手が少なくなり、子育てに不安感や孤立感を感じる保護者が増加しています。



▶ 保育ニーズの増大・多様化

津市では、就学前の子どもを持つ母親の約5割がフルタイムやパートタイムなどで働いており、小学生の子どもを持つ母親は約7割が働いているというアンケート結果が出ています(「子育て支援に関するニーズ調査(平成21年6月)」)。このような背景から、保育ニーズが増大し、保育所への入所を希望する児童が年々増加しています。



こうした状況に対応していくため、津市ではさまざまな取り組みを行っています。

きめ細やかな親・子どもへの支援

保健・医療・福祉・教育のきめ細やかなサービスを提供し、安心して妊娠、出産、育児が行えるよう支援しています。

きめ細やかな行政サービスの提供

母子健康手帳交付
親とつながる
きっかけ

産婦人科との連携
妊産婦医療助成
妊婦健診

**乳幼児健診
予防接種**
未受診・未接種児の
背景を見つめる

**赤ちゃん訪問
養育支援訪問**
生活の場での
情報把握

**保育所・幼稚園
小・中学校**
毎日、子どもを
見守れる場

経済的な支援
児童手当の支給
乳幼児・小児医療費の助成
就学援助費の支給

保健・医療・福祉・教育の連携

保育サービスの充実

▶ 保育所待機児童の解消

待機児童を解消していくため、施設整備を促進しています。また、緊急一時入所の保育所を増やすとともに、ハローワークや保育士養成校との連携などにより、保育士の確保に努めています。

▶ 特別保育の充実

障がい児保育の充実に向けて、障がいの状態に応じた加配保育士の配置や、こども総合支援室の発達支援担当職員の保育所訪問支援などにより、連携した療育支援を行っています。



幼保一体への先進的な取り組み

市内の3つの施設で、合同カリキュラムを作成し、教育・保育を実施しています。

▶ 目的は？

- ① 幼稚園・保育所に通う子どもたちが等しく幼児教育・保育が受けられるようにする。
- ② 互いの良さを出し合いながら質の高い保育・幼児教育を提供する。
- ③ 就学前から小・中学校へのつながりを見据える。

▶ 取り組んでいる成果は？

- ① 交流を重ね、互いを身近に感じるようになった。
- ② 小学校への連携がスムーズになった。

▶ 取り組む上での課題は？

保育・教育に対する考えの違いを十分に話し合い、共通理解を図っていくことが必要である。

▶ 取り組み例



一緒にサツマイモの苗を植えました(白山乳幼児教育センター)



合同で運動会を開催(浜っ子幼稚園)



こいのぼりを一緒に作成(高野保育園・高岡幼稚園)